時事新報

驛遞局認可

明治十八年五月五日（西暦一千八百八十五年）火曜日

第九百六十號

日曜日休刊

社告（大坂市中豫約諸君御便利ノ爲メ大坂府下寃區高麗橋通五丁目卅四番地ニ時事新報社出張所ヲ相設ケ五月一日以後同府下四區内時事新報配達（無料遞送）及ビ豫約前金受取等ノ事ヲ取扱ハセ候ニ付左ニ掲クル件々御承知可被成下候（四區外ニテモ市街接近ノ郡村ニテ大坂諸新聞直配達ノ場所ハ四區内同樣ノコト）

一在大坂府四區内時事新報購讀者ヘ遞送ノ分ハ本社ニリ一樣メニシテ出張所ニ遞送シ同所ニテハ特ニ雇入レタル配達人ヲ以テ晝夜ノ別ナク到着次第即時ニ配達セシムベキ事

一從來郵便税一箇月廿六錢ノ割ヲ以テ申受居候處五月以後遞送無料ニテ配達致候間一箇月金六十五錢ニテ御聞覽ノ便ニ供シ三箇月以上ノ前金モ右ニ準シ定價相減シ候事

一從前ヨリノ豫約購讀諸君ヘハ別段ノ御通報ヲ待タズ豫約期日ヲ目的トシ引續配達致候但郵便税減少ニ係ル餘剰金ハ新報代ニ差繼キ豫約期日相延シ候事

一大坂市中配達ノ分ニ限リ從前ノ期日帯封相廢シ候ニ付テハ豫約期限御失念モ難測候間右期日相切レザル以前ニ大坂出張所集金人ヲ以テ引續キ御購讀ノ有無相伺ハセ旁次回ノ豫約前金請求可仕候萬一期日迄同漏レモアリテ前金限リ御停止ノ思召ニ候得者其旨大坂出張所ヘ御通報被下度候

一大坂四區内住居ノ御方轉居ニテ配達先キ御取替等ノ事ハ一切出張所ニテ取扱候間其趣東京本社ニ御通報ナク直チニ同出張所ニ御申込可被成下候但新タニ御注文ノ節ハ必ズ同時ニ豫約前金ヲ同出張所ヘ御交付可被成下候

一大坂市中ヨリ各地方ヘ御移轉ノ後其地方ヘノ時事新報遞送ハ東京本社ニテ取扱候ニ付右御轉居ノ趣ハ大坂出張所幷本社両方ヘ御通知可被成下候但出張所ヘ御掛込ノ豫約前金殘餘アルトキハ該金額ニ對スル預リ證書ヲ出張所ヨリ差出候間右證書ヲ以テ本社ヘ御申込可被成下候左候ヘハ本社ニテハ右期日迄代金ノ授受ナク御移轉先キニ遞送可致候又各地方ヨリ大坂市中ニ御移轉ノ節ハ其旨本社ニ御通知可被成下候左候ヘハ本社ニテハ郵税減少分新聞紙代ニ差繼キ其豫約期日ヲ出張所ニ通知シ同日迄引續キ新報ヲ配達セシム可シ

一大坂市中ヨリ東京市中ニ御移轉ノ節ハ大坂出張所ヨリ豫約前金預證書ヲ差出候ニ付右證書ヲ以テ本社ヘ御申込被成下度又東京市中ヨリ大坂市中ヘ御移轉ノ節モ同樣ノ手續ニテ大坂出張所ヘ御申込被成下度候

一時事新報紙上ニ廣告文掲載ノコトハ大坂出張所ニテ取扱ハセ候間此旨御承知置被成下度候

右ノ外總テ本社ノ規則ニ依リ社員大橋忠義氏ヲ出張所ニ差遣シ事務取扱ハセ候間此旨御承知置被成下度候

東京日本橋區通三丁目十一番地

時事新報社

公報

○外務省告示第四號

今般朝鮮國政府ニ於テ同國漢城ヲ開市場ト相定候條本年三月十二日以後該場ヘ渡航スルヲ得ベシ

右告示候事

明治十八年五月四日　外務卿　伯爵井上馨

○大蔵省告示第六十八號

依據第二國立銀行書付幷銀券ノ儀ハ昨明治十七年（五月）第十八號ヲ告報ノ旨趣ニ據リ本年五月廿六日限リ紙幣不相成筈ニ付右銀券所持ノ者ハ本年七月卅一日限リ同銀行ヘ持參引換フベシ

右告示候事

明治十八年五月四日　大蔵卿　伯爵松方正義

○警視廳告示第三號

明五日

聖上　皇后宮濱離宮ヘ幸啓可被爲在候處即日麻疹病流行之際ニ付該患者及ビ其家族ハ御途上御列ニ接近セサル樣致スベシ

右告示候事

明治十八年五月四日　警視總監大迫貞清代理　警視副總監綿貫吉直

叙任

○明治十八年五月二日

授爵　從三位　倚時泰

授侯爵　從五位　小松芝亭

授男爵　從五位　倚詔愛古

時事報報

日本人ノ外國行ハ其利害如何

近來日本人ニシテ米國桑港ノ地ニ渡ル者少ナカラズ其人員次第ニ増スニ從ヒ弊害モ亦漸ク生ジテ經世家ノ憂タルモノナキニ非ズ其一二ヲ擧レバ日本ノ壯年輩ガ渡米スルハ學問ノタメニ非ズ就職ノタメニ非ズ唯丁年ニ達セントスル者ガ徵兵ヲ免カレントスルノ狡猾手段タルニ過キズ又或ハ學問執行ヲ目的トスルモノニテモ寒貧ノ身ニ一錢ノ貯モナク辛ウシテ太平海渡航ノ船賃ヲ所持スルカセザル程ノ出デ立チニテ彼ノ地ニ上陸ノ其時ヨリ率公口ヲ求メ、之ヲ求メテ得ザレバ路頭ニ迷フノ外アル可ラズ或ハ都合ヨキ手筋ニテ人ノ家ニ奉公スルカ又ハ職工場ニ雇ハルヽコトアルモ固ヨリ下等ノ仕事ナレバ其心情マデモ下等ニ爲リ下リテ宿昔ノ志ヲ變シ唯錢ノ多少ヲ是レ問フテ學問ナドノコトハ恰モ忘レタルガ如キ氣風ニ移リ到底其身ニ益スルコトナシ又或ハ最初ヨリ慶問ノ念ナキ下賤ノ者共ノ衆勢ヲ見ルニ第一英語トテハ一句モ不通ニシテ忽ニ改進ノ魂ナケレバ彼ノ國風ヲ見テ自カラ省ルヿヲ爲サズ衣食住共ニ正ニ日本下輩社會ノ有樣ヲ其マヽ海外ノ地ニ移シテ之ヲ外人ノ目下ニ披露スルモノニシテ其醜ニ堪ヘズ是等ハ何レモ當日本ノ恥辱ニシテ自カラ國ノ体面ニ影響ス可キヿ必然ナレバ外國渡航ニ就テハ大ニ制限ヲ立テ假令ヒ之ヲ禁止スルマデニ至ラザルモ嚴重ニ取締ノ法ヲ設ケザル可ラズ云々

以上ハ所謂經世家ノ意見ニシテ我輩モ全ク之ニ反對スルモノニハ非ザレドモ其意見ハ果シテ今ノ人事ノ實際ニ行ハレテ我國民外國行ノ弊害ヲ救フニ足リ可キヤ甚タ覺束ナキモノナリ第一壯年輩ガ渡米スルハ徵兵ヲ逃ルヽガタメナリト云フ、成ルホド左ルモノモアランナレドモ是レハ人ノ心内部ニ存スルコトニテ法律上ヨリ咎ム可キ事柄ニ非ズ徵兵ヲ逃レ又コレヲ逃レシムルモノハ渡米ニ限ラズ近ク内國ノ公立學校ニ入テ之ヲ逃ルヽモアリ又之ヲ逃レシメントテ從來私立ニテアリシ學校ヲ早々ニ改メテ公立ノ体裁ニシタルモノアリ是等ヲ討ヘ上ケテ一々本人ノ心掛方ヲ咎メタラバ德義上ニ相濟マザルモノ甚タ多カル可シト雖モ今日ノ法律ニ於テハ之ヲ如何トモス可ラズ左レバ渡米ノ本心ガ何ノ邊ニ在ルモ之ヲ以テ特ニ忍ブ可ラザルノ弊害ト爲スハ少々無理ナルガ如シ又第二第三ニ日本ノ貧書生ガ資金モ持タズシテ無勘辨ニ渡航シ進退據ヲ失フテ路頭ニ迷ヒ又純然タル下等賤民ガ無智鄙陋ノ醜体ヲ現ハスガ如キハ如何ニモ國辱トモ申ス可キ次第ニ實ハ我國中ノ上流富貴ノ人ノヨガ海外ニ出テ美衣美食シテ彼ノ國人ニ交際ヲ求メ日本ノ財ヲ彼ノ國ニ散スルノミニシテ彼ノ財ヲ日本ニ携ヘ歸ルヿトテハ思ヒモ寄ラザルヿ官費ノ留學生カ又ハ官員ノ如クナラバ彼ノ國人モ大ニ悅ビ日本人ノ肩身モ廣キヿナランナレドモ内外ノ交通斯ク容易ナル時節ト爲ナリテハ外國ノ往來ハ官ノ筋ノ專有ニ非ズ人民ノ中ニテ富貴モ行キ賤民モ行キテ際限アル可ラズ而シテ其多人數ノ中ニハ極メテ無智鄙陋ニシテ見ルニ忍ビザル者モ多カラント雖モ又心事ノ高尚ニシテ外人ニ愧ヂザル者モアル可シ畢竟スルニ人ノ貧富智愚ハ人間世界ニ免ル可ラザルヿニシテ内ニ居テモ智ハ則チ智ニシテ外ニ出テヽモ愚ハ則チ愚ナリ終ニ蔽フ可ラザルヿトスレバ其貧愚者ヲ内ニ包ミ置クモ美トスルニ足ラズ況ヤ近來ハ日本國中ノ大不景氣、力役ノ徒ハ年豊ニシテ尚餓死セントスル者サヘアル世ノ中ニシテ工業起ラズ人力餘リアルノ實況ナレバ有餘ヲ外ニ出シテ内ノ切迫ヲ寛ニスルハ經世ノ旨ニ適フヿナラン其醜体ヲ海外ニ披露ス云々ノ問題ニ就テハ我輩コレヲ一個人特別ノ場合ニ紀サズシテ數年ノ後數萬人ノ日本人ニ平均シテ果シテ醜ナルヤ否ヤヲ問ハント欲スルモノナリ例ヘバ支那人ハ數十年來米國ニ出稼キシテ遂ニ米人ノ嫌惡スル所ト爲リタルハ智德ノ程度如何ニモ低クシテ其實ヲ見洞サレタルモノナリ日本人ノ智德モ正ニ支那人ト同等ナランカ數年ノ後ニ至リテ彼ノ國人ノ輕蔑ヲ受ルヿ支那人ニ異ナルナカル可シ是非ナキ次第ナラズヤ然リト雖モ我輩ガ公平無私ノ觀察ヲ下シテ日支二國民ヲ比較スルニ如何ニ我賤民ガ劣ナリト云フモ大數ヲ取テ相互ニ平均比較スレバ我國民ノ心事ノ地歩ハ數等ノ上ニ位スルモノト云ハザルヲ得ズ是レハ我輩ガ一私言ニ非ズシテ日本全國就中經世家ノ許ス所ナラン然バ則チ今日我少數ノ人民ガ桑港其他諸外國ニ遊學シ出稼キシテ時ニ或ハ不休裁アレバトテ假ニ以テ憂トスルニ足ラズ其眞ニ憂フ可キト憂フ可ラザルトハ蓋シ數年ノ後ニ於テ之ヲ見ル可キノミ但シ今日ニ於テモ人民ノ外出ハ之ヲ留ム可ラズシテ又禁ス可キノ法律モアラザルガ故ニ其自由ニ任ス可キハ無論ナレドモ此事タルヤ時勢ヲ考レバ我國ノタメニ便利ナルハ疑モナキモノナレバ有力ノ人ガ之ヲ贊成シテ都合ヨキ方法ヲ設ケ益盛大ナラシムルハ我輩ノ實望スル所ナリ

雜報

○漢城開市　今度朝鮮政府ハ同國漢城ヲ開テ貿易市場トナシたるヨ付去ル三月十二日以後同地ニテ通商するヿと得へき旨昨日外務卿より告示したり。

○官省節儉　司法省ハ墨その他雜品の渡しを廢止し、文部省ハ諸學校の教師に對し、其他の雜費の節儉を命じたるなど、何れも本月一日より節儉の目的を以て各自望ミの目的を定め尚其他の種類を定め尚其他の節儉を命じたるなど成りたる由なれども、これまで各自望ミの目的